

東大阪モノづくり体験塾 第5回フォーラム アンケート結果 No.1 参加学生

ご参加者の分類	1. 感想	1.1. 理由をお聞かせください		3. 今後の取り組みへのご意見	4. 「体験塾」を通しての感想
参加学生	①大変良かった	普段見ることのできないものや、触れることのないものを、実際に間近で体験できて、とても良い経験になった。「モノ」に対する見方が、少し変わった。	発表会で体験に協力して下さった各企業様の、か紹介のようなものがあつたらいいと思った。	もう少したくさんの方に、モノづくり体験塾のチラシを配るなどして、存在を知ってもらえるようにする。	まだ、この体験が直接将来の仕事に関わるかはわからないけれど、藤岡さんも話されていたように、この体験があつたからこそ、将来の自分も、できるが増えると思うので、この製造についての知識は自分にとって、とてもいいものになった。
参加学生	①大変良かった	社会人の、しかも先頭に立って経営をされている方々からぶっちゃけたお話を聞ける機会はなかなか無いのですごく勉強になりました		公式SNSなどを作って活動風景を載せるのはいかがでしょうか	色々な方々のモノづくりについての考え方、関わり方を目の当たりにして、種類や方法は様々でもみんなその根源には楽しい気持ちやモノづくりを愛する気持ちが感じられたのが印象的でした。どんな環境に行っても自分なりのやりがいを見つけたいと思っています。
参加学生	①大変良かった	普通に学生生活を送っていたら、まず経験できないことをさせていただいたことに大変感謝しています。また、他の大学の学生さんに会うこともでき非常に刺激をもらいました。	やはりどうしても堅い雰囲気が出てしまうので、柔らかい空気づくりをするとういきたいと思います。	話しやすい空気づくり	多くの企業さんの前で話せることは今後あまり無いと思うので、一つの自信になると思いますが。
参加学生	①大変良かった	楽しく「ものづくり」について学ぶことができました。インターン自体初めてでわからないことばかりでしたが、最後まで無事に終わって本当によかったです。	学生のみで1回練習会などがあると良かったのかなと思いました。また、集合時間などもわからなかったのが、知れたらもう少しスムーズになったのではないかと思います。	大学間における連携、大学と企業様の連携がまだまだと思いました。大学のキャリアセンターだけでなく、学生が必ず参加するうえでの体験があると、大学生でも早くから企業の事を知ることができると感じました。この「モノづくり」の技術を大学生にもっと発信出来ればと思いました。小・中・高・大においても市と企業様との合同説明会などもあればいいかなと思いました。	

東大阪モノづくり体験塾 第5回フォーラム アンケート結果 No.2 受入企業

ご参加者の分類	1. 感想	1.1. 理由をお聞かせください	2. 学生の行動で困ったこと・気になったことはございましたか	3. 今後の取り組みへのご意見	4. 「体験塾」を通しての感想	5. 来年度以降のご協力について	6. 受け入れの課題
協力企業の皆様	②良かった		とくになし		商品開発にいかしていきたいです。	①協力する	
協力企業の皆様	②良かった	学生の熱意に触れたこと。仕事について真っ白な状態の学生に伝えることでこちらも振り返りが出来たこと。若い方の感覚やデザインを知るきっかけとなりました。	とても礼儀正しく積極的でしたのでございません。	時期と人数です。	デザインを活かした商品を作ります。	②検討する	時期と人数です。
協力企業の皆様	②良かった	学生さんが正直な意見を伝えてくれるので、我々が見えなかった点を改善出来る事（検討も含め）	作業を体験してもらう時、安全上のことから体験してもらえない事が多い事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物作りの楽しみをアピールする方法。</li> <li>・物作りは皆で作り上げる。そしてその喜びを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業（製品）が出来上がるまでの工程を全て体験してもらう。</li> <li>・その中で経験した事を、その人の今後の進路に対し役立ててもらいたい。</li> <li>・安全上、全ては無理？ やりがいを重視して説明する。</li> </ul>	①協力する	

ご参加者の分類	1. 感想	1.1. 理由をお聞かせください	2. 印象に残った発表-1	2.1. 理由をお聞かせください	3. 印象に残った発表-2	3.1. 理由をお聞かせください
ご参加の皆様	①大変良かった	この状況下で大変な作業にもかかわらず、有意義な会だったと思います。	株式会社藤網合金	楽しそうに見えました。	株式会社松よし人形	深く調べられていました。
ご参加の皆様	②良かった	企業の現場の様子などが分かり、それに対する学生の方々の受け取り方が見えて興味深いものでした。	株式会社松よし人形	積極的に提案をして、具体的に自ら製品に繋がるものを造っていた。	甲子化学工業株式会社	設備機器を見て、自分の作りたいものを指導を受けながら作っているところが心強い感じでした。
ご参加の皆様	②良かった	若い人の感性と経営者の感性のすり合わせの場となっている。	甲子化学工業株式会社	企業の設備を使って考えられたランプシェードのアイデアが俊逸		
ご参加の皆様	①大変良かった	藤網さんのお話し&息子の発表&最後のパネルディスカッションがよかった！	株式会社藤網合金		甲子化学工業株式会社	
ご参加の皆様	①大変良かった	東大阪市をプラットフォームとしたモノづくり企業と学生との交流は、単なる工場見学ではない活動であることを改めて実感できたからです。	株式会社藤網合金	よくぞ、砂型鑄造へチャレンジしていただいた。この経験は必ず、彼の人生観に影響をあたえるものとなるはずと感じたから。	株式会社excellent	素直な感覚～体験の感想が初々しくも、しっかりしていたから。
ご参加の皆様	②良かった	発表者の人数が少ない分、じっくりと聞くことができた。パネルディスカッションでは双方から具体的な意見が聞くことができた。	株式会社藤網合金	純粹に体験を楽しむことができたことがよく伝わるプレゼンテーションだった。	株式会社excellent	参加の目的が明解かつ自発的であり、独自の視点で問題提起できているのが良い。
ご参加の皆様	②良かった	マイクなどの音響について、はテストをお願いします。会場の設定については、もう一工夫をお願いします。	株式会社excellent	パワーポイント資料の作り方がうまく、内容がわかりやすかった。	株式会社松よし人形	モノづくりに女性が参画して欲しいし、女性の感性を生かして欲しい。
ご参加の皆様	①大変良かった	成果発表で自身が自発的に学んだ事柄を自分の言葉で表現できる場であった。運営上の不都合があったにもかかわらず、手づくり感があり良い雰囲気であった。	藤網合金株式会社	鑄造について学んだこととともに、自身が砂型から仕上げ、完成プロセスがよくわかったから。		
ご参加の皆様	①大変良かった	現場を知る重要性		全て、それぞれのメンバーが多く気づきを得られている。		
ご参加の皆様	①大変良かった	野田市長の市内製造業の実績が想像以上に素晴らしく、日本がこれから生き残っていくためには、製造業人材の確保が大切とのこと。発表内容も素晴らしいと感じました。	藤網合金株式会社	大変厳しい鑄造現場で働き、製品をつくる作業の体験	株式会社松よし人形	2人の女子学生が具体的に新商品開発まで、しかも障がい者にも配慮

4. 気付きの機会	6. 「東大阪モノづくり体験塾」に対する期待
小職、素人なのですべてが発見でした。	来年度はぜひ電気電子系の学生も参加させるよう努力いたします。
学生さんには自ら作りたくなるような仕掛けをしていくべきと感じました。	参加しなかった学生さんも含めた意見交換の場があれば本音が出て面白いと思います。
	継続と発展。学生と経営者のパネルディスカッション？は良かったと思う。
学生が自分の意見をきちんと話せてることにびっくり。また、企業の経営者との対面の話もいいですね。	
世間にあふれる情報によって選択の幅が広がってはいるが、モノづくりへ興味がある方は「こうしたい。」「こうなりたい。」を持っておられることがよくわかった。企業側も、学生さんから興味を持っていただく取り組みが必須であることを再認識した。	多くの学校への広報強化によって、「モノづくり体験塾」の認知者母数を向上させたい。
働き方について様々な考えを聞くことができた。『副業』することは、複数のスキルを持つことであり、これからは当たり前（必須）になるのだと感じた。終身雇用という考えは無くなっていくと思うし、セルフプロデュース（自分株式会社）が大事になり、経営者もそのような人材を上手く活用する術を持つべきなのだと思う。	ただ体験するだけではなく、積極的に問題を提起をして、多くの気づきが得られる会にしていけたら良いと思う。
路駐についての問題意識＝法令順守（コンプライアンス意識）が学生側にあること。	モノづくりの東大阪市のなかで、地道にこれから体験塾を続けていただき下支えをお願いします。この上に続いて医工連携、デザインプロジェクト、東大阪ブランドなどの大輪の花を咲かせたいと思います。
製造業を再度国内に取り戻す必要を改めて感じ、人材育成のうえからも大切だと思った。	とにかく（高井田モノづくり体験塾から）14回の開催を続けられたことが素晴らしい。これからも続けていってください。「持続こそ力」